

医学系研究に関する情報の公開について

研究機関名*	独立行政法人労働者健康安全機構 大阪労災病院
研究課題名*	腹壁癒痕ヘルニアのサイズ変化とサイズ増大リスク因子について
所属科*	外科
研究責任者*	玉井皓己
研究実施期間	開始 西暦 2024年 10月 30日 ~ 終了 西暦 2024年 12月 31日 (予定)
対象疾患(予定症例数)	大腸癌 (90 症例)
研究対象となる治療・手術・検査の時期	自 西暦 2017年 1月 1日 ~ 至 西暦 2021年 12月 31日
研究概要*	背景：腹腔鏡下大腸癌手術後の腹壁癒痕ヘルニアは 10%程度に生じる。一般的にはヘルニア修復術が推奨されるが、大腸癌術後の場合、再発リスクの懸念から手術をせずに経過観察 (watchful waiting: WW) することも多い。一方で、WW 症例の経過やヘルニア門サイズ変化の検討は極めて少ない。WW 症例のヘルニア門サイズ変化やサイズ増大因子の検討を行う。
倫理的配慮・個人情報の保護の方法について*	連結可能匿名化を行う。対応表はそれぞれの部署 (施設・研究室) で厳重に保管する。本研究で得られたデータを当院外へ提供する際には対応表は提供せず、連結可能匿名化されたデータのみを提供する。学会や論文等で研究成果を発表する場合も、個人を特定できる情報を明らかにすることは決して行わない。
研究の問い合わせ先*	大阪ろうさい病院 外科 玉井皓己

* 記入必須項目